



第16回

少年の主張 鏡石町大会

8月2日(土)町図書館で第16回少年の主張鏡石町大会が開催され、小学生10人、中学生6人が出場し、日頃感じたことや考えていることなどを発表しました。

最優秀賞は、小学生の部が北風光稀君(一小5年)、中学生の部が矢吹花野さん(鏡石中3年)の2人が受賞しました。また、石淵ひなたさん(三小6年)、野内大輝君(三小6年)、石黒慶君(鏡石中2年)、中林幸佳さん(鏡石中3年)の4人が優秀賞を受賞しました。

今回は最優秀賞を受賞した2人の作品を紹介します。



平和とは

北風 光稀

皆さんは、平和と言われたら何を思い浮かべますか。おそらく多くの方が、戦争がないこと、そう考えるでしょう。だから日本は平和だと僕も考えていましたが、本当にそれだけで平和と言って良いのでしょうか。

平和という言葉が辞書で調べてみました。そこには、

- ① 戦争や紛争がなく、世の中がおだやかな状態にあること。
- ② 心配やもめごとがなく、おだやかなこと。

とありました。テレビのニュースを見ると、子どもがぎやく待されて亡くなったり、犯罪や事故に巻き込まれて命を失った

り、時には、いじめなどが原因で自ら命を絶つたり、目をおおいたくなるようなものではないです。これでも「心配やもめごとがなく、おだやかな」社会と果たして言えるのでしょうか？

去年一年間で、どれだけの命が事件や自殺で失われたのかを調べてみました。

殺人事件、九三九件。自殺者、約二万七千件。

いつも、ニュースを見ると、殺人事件ばかり取り上げられていて、その方の死亡数が多いのかと思っていました。ところが、人が人の命を奪うことよりも、自分で自分の命を絶つことの方が約三十倍も多い。僕はこのことにとっても驚き、それと同時にとても悲しい気持ちになりました。

僕は、なぜ多くの人が自分で自分の命を絶つ事になってしまっただけか、本当は調べるのが少し怖かったのですが、その理由を調べてみることにしました。そして自殺は、次の五つの原因で起こることが多いとわかりました。健康上の問題。経済的な理由。家庭上の問題。仕事が忙しすぎるこ

とや、仕事への責任感。学校でのいじめや暴力の問題です。

特に僕が胸を痛めたのは、学校でのいじめや暴力の問題を苦に自殺をしようとするケースです。これは僕にとって決して他人事では無く、ごく身近な問題です。だからこそ、平和な日本をつくるために僕にでもできることが何かあるはずだと思いました。

きつと死を選んでしまった人たちは、周りのみんなから手を差し伸べてもらえなかったのではないかと思います。自分の悩みや、心配事を相談できる人がいれば、一人で抱え込まずに済み、死を選ばずともよかったです。僕も、嫌な事や悲しいことがあった時には、家族や友達に相談すると気持ちが楽になります。

でも、もし、僕の周りにいじめや暴力で悩んでいる友達がいいたら、僕は手を差し伸べられるのだろうか？

今度は、自分が標的になるんじゃないかと思ひ、声をかけられないのではないだろうか？いや、僕は迷いません。あの時、声をかけてあげればよ



故郷の風を感じて

矢吹 花野

「ただ一面にたちこめた、牧場の朝の霧の海・・・」で始まる唱歌「牧場の朝」に歌われた町、鏡石。

あなたは、自分の故郷が好きですか。私は美しいあやめの花が咲き誇る鏡石が好きです。

六月の中旬、良く晴れた土曜日の、私は、勉強していた手を止めて、走りに行きました。私は走ることが好きで、陸上部に入部しています。久しぶりに、家から十分ぐらいの所にある鳥見山公園まで走ることにしました。太陽が地面に照りつけ、六月にしては暑い気候の中、少しゆっくりとしたペースで、景色を見ながら走っていました。鳥見山公園は、あやめの花が辺り一面を

紫色に染め、まさに見頃を迎えていました。そして、満開のあやめの花の前に、たくさんの人だかりができていました。ちょうどその日は「あやめ祭り」の日だったので。

あやめ祭りとはい、その名の通り、鳥見山公園のあやめの花を観賞するお祭りです。あやめは、鏡石町の町の花なのです。人だかりの理由は、あやめの花とモデルの人の写真撮影会のためでした。濃い紫色、薄い紫色、微妙な色合いのあやめの花は、町内の人だけでなく、町外から訪れる人を魅了しているのです。みんなを笑顔にしているのです。私はたくさんの方が、あやめ祭りに訪れていることが、とても嬉しかったです。

鳥見山公園をぬけ、再び走り始めた私は、ある出来事を思い出していました。それは、六月の中旬、福島市の「とうほう・みんなのスタジアム」で行われた、日本陸上競技選手権大会です。ちょうど週末は、部活がなかったため、二日間、朝早くから夕方まで応援に行きました。土曜日は、あいにくの土砂

かったなあと後悔しても、命はたった一つ。もう二度と元には戻らないのです。こんな悲しいことはまっぴらごめんです。だから、もし、僕の周りにそういった友達がいいたら、できる限り力になりたいと思います。どうか、皆さんもそうしてください。そしてみんながみんなを助けあえるような思いやりがあふれた世の中にしていきませんか？

一人一人が命を大切にすることが、僕が平和の第一歩だと思っています。僕は自分の周りの人たちにこのことを呼び掛けていきたいと思っています。だから、ここでも声を大にして言わせてください。

命を大切にしましょう！命を守りましょう！

そして、本当の意味での平和な日本をみんなで作っていきましょう！



間に大きな写真で掲載されていた選手が、目の前を走っていくのです。瞬きをするのも忘れてしまうほど、圧倒されたすばらしい競技に、言葉にならない熱い思いが込み上げてきました。福島で、たくさん選手が走っているということが、たまらなく嬉しかったのです。

この、日本陸上競技選手権大会とあやめ祭りには、今まで見たこともない数の人が訪れていました。東日本震災の影響で、一時は訪れる人が少なくなりましたが、故郷に、たくさんの方々が笑顔と、元気な声が集まってきたのです。私は、賑わっている故郷が好きです。

私はまだ、鏡石を走り始めたばかりです。これから先、鳥見山公園だけでなく、鏡石のいろいろな所に走り行って、きれいな景色をもっと見たいです。福島県中のいろいろな場所を自分の足で走ってみたいですね。故郷の風を感じて。あなたは、故郷が好きですか。私は大好きな故郷を、これからも走っていきます。鏡石で、福島で、生きていきます。